

子ろばだより 北総教会 J C 通信

2011.10.16 第 27 号

発行責任者 印西市草深天王脇 1139-7

日本基督教団千葉北総教会 牧師 大串眞



でんわ 0476(37)8732 牧師携帯 08031596561

新コーナー 私の好きな聖書のことば

では、どうなのか。わたしたちには優れた点があるのでしょうか。全くありません。既に指摘したように、ユダヤ人もギリシア人も皆、罪の下にあるのです。次のように書いてあるとおりです。

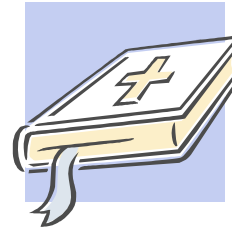
「正しい者はいない。一人もない。悟る者もなく、／神を探し求める者もない。皆迷い、だれもかれも役に立たない者となった。善を行う者はいない。ただの一人もない。彼らのどは開いた墓のようであり、／彼らは舌で人を欺き、／その唇には蝮の毒がある。口は、呪いと苦味で満ち、足は血を流すのに速く、その道には破壊と悲惨がある。彼らは平和の道を知らない。彼らの目には神への畏れがない。」

ローマの信徒への手紙 3・9-18

ローマへの信徒への手紙はパウロ書簡の中で最も難解な書です。高校生の時私は母教会

である倉敷教会の青年会館に下宿していました。当時 CS (JC) の教師をしていた中摩信行先生が、幸せなことに一年間かけてこのローマ書の注解をしてくださいました。中摩先生は、本当に信仰厚き方でした。毎日曜日 8:55 に一階の高校生室に入室され、おもむろに讃美歌を歌い始めます。誰か生徒が一人でも来ない限り、これが次から次に 40 分間続きます。軟らかい

テナーの美声でしたが、2 階の住人は堪ったものではなく、”今は試験中で明け方まで勉強していたのに”とか、”誰か早くやって来い”とか、何時もブツブツ言いながら下りて行きました。中摩先生は読む前に丁寧に時代背景を説明してくださいました。パウロはローマ教会とは創設に関しても、個人的にも関わりは無かったのですが、ローマを将来の活動拠点にと考えていたようです。他の書簡のように、その時々で教会を苦しめていた問題に直接対応しているのではなく、これはパウロの神学的な論文であると言われましたので、高校生ごときにはとても理解できないと思っていました。3 章のこの箇所にて、“義人はいない、ひとりもない—詩編 14 編 1-3”、“ええ、そうなんだ。”と始めて興味を持ちました。それまではパウロと云う人は、“へりくつ”ばかりで、マイナスのことを言えばプラスがいや増すと云うよ



うな仮定論法で、訳けが分からないと思っていました。（ここから後ろの箇所もそう云う論法だと思ってしまえば理解し易くなります。が、とにかく全体的に理屈ッポイです）神様の前では全ての人に優劣の差はなく平等である（罪の下にある）と此所では教えられました。

A・Y

今月のいちおし

私の一押しは precious という映画です。この映画を見ると全ての人があるままで神様には宝物であることが分かります。あとは田んぼや畑を焼く匂い草を刈った匂い日本の秋です。



O・K

お知らせ

○11月3日は千葉北総教会のバザーです。焼き鳥などおいしい食べ物、もちつき大会、かわいい手作り品、ゲーム大会、マジックショーなどなど楽しいことがいっぱいあるよ。お友達にも知らせてみんなできてください。10:00~14:00

○11月13日は礼拝の中で祝福式をします。教会の七五三です。出産後のお祝いや、毎年こどもたちのために祝福を祈るときとして親御さんも一緒にぜひご参加ください。10:00 集合、教会からおみやげもあるよ！